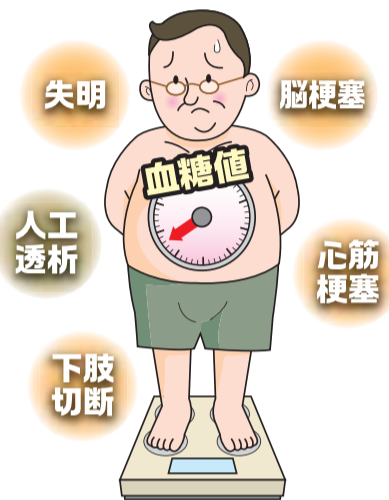


糖尿病が怖い本当の理由



副院長
糖尿病内科
朴 孝憲



99・976%がきわめて安定した亀の甲のような形をとっていてほとんど反応しません。しかし開裂して鎖状の形になったときは激しく反応しますが、その割合は血中ブドウ糖のわずか0・024%にすぎません。(図3)

糖尿病が怖いことは、多くの方が知っておられます。その理由として、失明や人工透析、下肢切断ばかりでなく脳梗塞、心筋梗塞の大きな原因であることが挙げられます。実際その通りなのですが本場に怖い理由は、失明や人工透析、下肢切断、心筋梗塞、脳梗塞といった合併症を発症するまでほとんど症状がないことです。いや、むしろ血液中の血糖値が少々高いほうが気持ちが良い、体調が良いと感じることが糖尿病の本場に恐ろしい理由です。今回はこのことについて考えてみましょう。

糖尿病という病気は血中の血糖値で診断します。血糖値とは血中のブドウ糖濃度で、空腹時の血糖値が126mg/dl以上もしくは食後など随時の血糖値が200mg/dl以上の時、糖尿病と診断し治療を始めます。健康

人ではこの血糖値が食後でも140mg/dlを超えることはありません。(図1) いま仮に、あなたの血糖値が健康人を少し超えた140mg/dlとしましょう。体内を循環している血液量は大人で大体5L(5000ml≒50dl)くらいです。7000mg≒7g(コーヒースティックの砂糖が約3g)、最大でもコーヒースティック2本分くらいのブドウ糖しかあなたの血液を流れていないのです。あなたの食事やおやつはどれくらいですか？食べた物は消化吸収され門脈を通して肝臓に入ります、どんなに沢山食べても肝臓が血中のブドウ糖濃度を調節し、血糖が140mg/dlを超えないようにしています。

また大脳はインスリン非依存性組織(インスリンというホルモンに関係なくブドウ糖濃度によりブドウ糖が細胞内に取り込まれる)です。ブドウ糖が上がり大脳の中に流れこんでいきます(体のほとんどの組織はインスリンによってブドウ糖が細胞内に取り込まれます。これをインスリン依存性と呼び、糖尿病ではインスリンの働きが低下しています。)

これからのクリスマス、お正月と続きます。おいしいものを食べられないのなら生きていく楽しみがないと多くの人が我慢しきれず食事を多くとり、そして血液検査をすれば血糖が上がっている、でも体調はきわめてよいと感じる、だから私の糖尿病は少々血糖が高いほうがいいのだと思ってしまう。

そしてまた忙しい世の中です。何らかの理由で糖尿病の治療を中断することがあります。しばらく様子を見て体調が悪くなれば、どこかおかしくなれば病院に行こうと思うのですが、薬を飲まなくても体調が悪くなるどころか逆に気持ちよく感じるようになります。そして治療を中断し、月日がたつて症状が

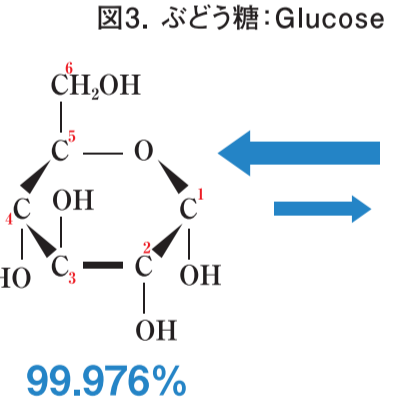
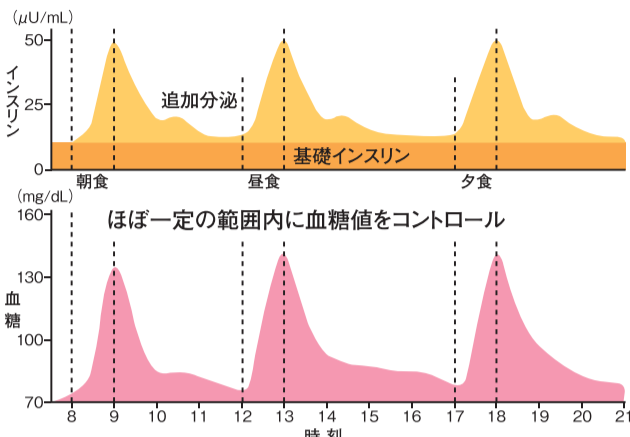
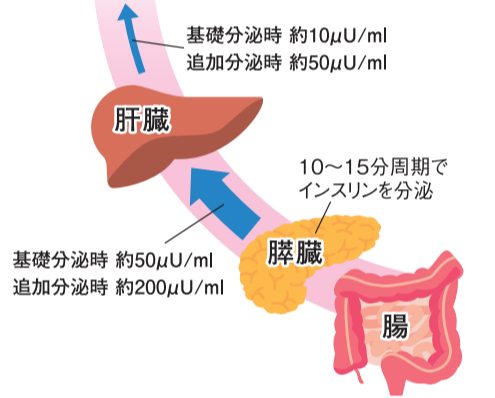


図1. 健康人のインスリン分泌動態と血糖の推移



物を食べる直前からインスリンというホルモンが膵臓より分泌され血糖値は140mg/dlを超えないようにまた、空腹時では血糖値が下がらないように肝臓からブドウ糖が産出され血糖値は70(140mg/dlの間に調節されています。(図2))

図2. インスリン分泌と動態



基礎分泌時 約10μU/ml
追加分泌時 約50μU/ml

基礎分泌時 約50μU/ml
追加分泌時 約200μU/ml

糖尿病教育入院を始めました!!

水	木	金	土	日	月	火
		運動療法 (理学療法士)			運動療法 (理学療法士)	
	13:00~ オリエンテーション・ 日内変動 (看護師)	合併症 (医師)			食事療法 個人指導A (管理栄養士)	
	14:45~ 食事療法 集団指導 (管理栄養士)	糖尿病とは (医師)	薬物療法 (薬剤師)	外泊	食事療法 個人指導B (管理栄養士)	退院
	15:30~ 運動療法 (理学療法士)	検査 (技師)	シックディ フットケア (看護師)	外泊		
	18:30~ ビデオ学習	ビデオ学習	ビデオ学習			

(午後: 講義40分/コマ×2~3コマ)

協和会病院ご案内

医療法人協和会 協和会病院
吹田市岸部北1丁目24番1号
(代)06-6339-3455

- 理事長/北川 透
- 院長/増田 公人
- 開院年月日/1988年(S63)3月

●診療科目/内科、消化器科、循環器科、糖尿病内科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、泌尿器科、神経内科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科

●診察時間/午前診 9:00~12:00(月曜日~土曜日)
午後診 13:00~15:00(月曜日・水曜日・木曜日)

※救急医療については、24時間お受けしております。

..... 地域の皆様へ

健康講座のご案内

テーマ 「糖尿病について」

日時 平成28年2月27日(土)
13時30分~14時30分

場所 介護老人保健施設
ウエルハウス協和 6階会議室
(施設は、協和会病院の右側に隣接しています)

講師 協和会病院
糖尿病内科 朴 孝憲

お問合せは 協和会病院 黒谷まで
TEL.06-6339-3455

出てきた時に病院に行きますが、その時はもう手遅れなのです。失明寸前、透析寸前になるまで症状は出てこないのです。だから糖尿病は怖いのです。

治療をしないとあちこち痛くなったり調子が悪くなれば治療を中断していただきます。

中断は少なくなるのですが、かつて調子よく感じるのが糖尿病の本場に怖い理由です。糖尿病と診断された方はこのことを忘れずに、治療を中断することなくかかりつけの医院や病院に通院してください。

医療情報技師を取得!



放射線科 入江 守保

医療情報技師とは、日本医療情報学会が資格付与する民間資格のことです。認定試験は2003年に開始され、8月頃に年1回実施されています。

病院情報システムの開発・運営・保守が主な業務となり、その特質上、情報処理技術だけでなく医療分野・医療情報システムの知識が必要となります。

試験は情報処理技術系・医学医療系・医療情報システム系の3科目が課せられ、3科目とも一定基準の成績を取れば合格となる資格です。

今年度内に当院でも電子カルテ導入されることをきっかけに放射線科でもPACSが導入され、医療情報システムを構築する意味から是非ともこの資格を取得したいと考え、自分の意志で挑戦してみることに致しました。

〈上司からの一言〉

2015年8月の資格試験を受けて、彼は見事難関の医療情報技師の試験に合格致しました。ちなみに彼は、院内研修会の出席者名簿をバーコード使用で行えるシステム変更に貢献してくれました。今後は、院内の医療情報システムに加わって活躍してくれる人材と期待しております。

ウエルケア事業部



介護保険には医療・保険・福祉の様々な介護サービスが用意されています。

協和会グループでは、同敷地に地域の在宅を支える「在宅部門」がありますので入院・入所中より密な連携を図る事ができます。

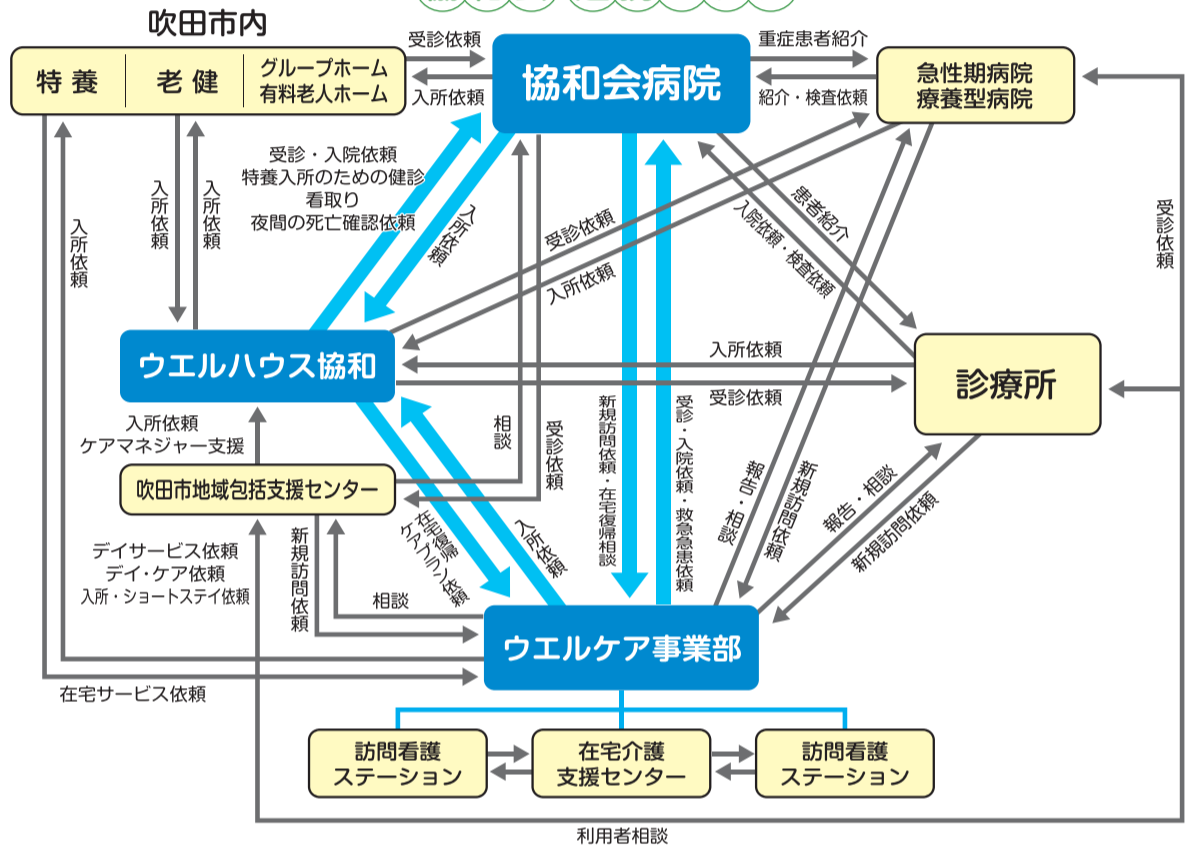
住み慣れたご自宅で安心して過ごしていただけるように、看護師やセラピスト、ホームヘルパー等が訪問し、在宅での生活を支援します。また、介護支援専門員（ケアマネジャー）が居宅や施設サービスの利用が適切に行えるよう支援をさせていただきます。介護の不安やわからないことがございましたら、まずはお気軽にご相談ください。

相談窓口

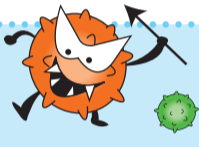
協和在宅介護支援センター TEL06-6339-0522

協和会病院隣、ウエルハウス協和内1階（平日9:00～17:00）

協和会 連携マップ



インフルエンザから身を守るために



私たちは毎日、様々なものに触れていますが、それらに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。ウイルスの体内侵入を防ぐため、以下のことを心掛けましょう。

- ①外出先から帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗う。
- ②ウイルスは石鹸に弱い為、次の正しい方法で石鹸を使用する。



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

正しい手の洗い方

平成27年度 火災避難訓練を終えて



当院では、職員による火災避難訓練を毎年行っております。今年も昨年同様、土曜日の午後の時間帯を利用して日勤帯及び夜間帯における火災を想定して訓練を行いました。

開催日時は、9月5日（土）午後1時～5時の4時間。参加職員103名。また今年の研修では、災害時ビデオ&トリアージ研修も取り入れました。職員一人ひとりが日頃から災害時の行動を意識して迅速な避難誘導等が出来るように定期的な訓練に加えマニュアル整理も必要です。今回の訓練&研修を通じて日頃から防災に対する意識づけを高めていきたいと考えております。

《災害対策委員会》



病院理念

知・技・心

専門的な知識と技術の向上を図り心をこめて安心の医療を提供します

基本方針

1. 「患者様中心」を常に心がけ、満足な医療を提供します
1. 患者様の人権を尊重し、公平な医療を提供します
1. 急性期から慢性期まで、地域と連携した医療を提供します
1. チーム医療を推進し、質の高い医療を提供します
1. 人員・設備・環境を整え、安心して安全な医療を提供します

医療法人協和会 協和会病院 2012.4.1

編集後記

11月は別名 霜月（しもつき）と呼ばれ、文字通り寒さを感じる季節となりました。各地で紅葉が見ごろを迎えていますが、紅葉狩りにお出かけになられましたか？ 紅葉といえば、京都・奈良や鎌倉などの有名社寺や庭園等で観る紅葉も格別ですが、先日私は鳥取県大山&三徳山投入堂（写真）の紅葉を満喫できました。皆様も思う存分秋をご堪能してください。

ところで今回、広報誌なごみも第30号記念号を発刊することが出来ました。次年度以降も皆様のご協力を得て継続して出版して参りたいと考えております。次号は平成28年2月初旬頃を予定しております。

（広報誌委員長 北村博司）



三徳山投入堂は断崖絶壁の神窟（パワースポット）